

ホテル安比グランド

HOTEL APPI GRAND

所在地——岩手県二戸郡安代町細野 117-17

建築主——岩手観光ホテル株式会社

設計者——株式会社谷口建築設計研究所

鹿島建設株式会社

施工者——鹿島建設株式会社

竣工——1985年11月30日

location——Ashiro, Iwate Prefecture

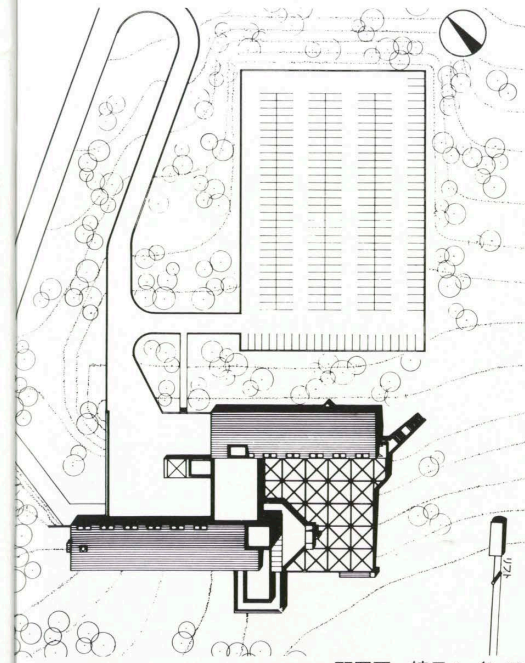
owner——Iwate Kanko Hotel Co., Ltd.

architects——Taniguchi and Associates

Kajima Corporation

contractor——Kajima Corporation

completion date——November, 1985



配置図 縮尺 1/2,500



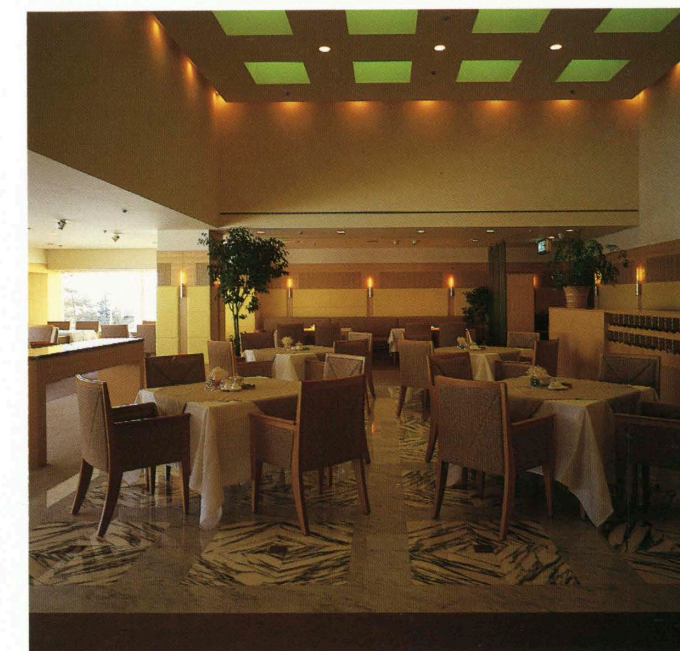
東側外観 East side view.



南側全景 General view from the south.



ロビー Lobby.



食堂 Restaurant.



バー Barroom.



2階和食堂 Japanese restaurant.



客室(メゾネットタイプ) Guest room.

[選評]池原義郎・中島昌信・澤村弘道

岩手県盛岡市から北50kmのところ、十和田八幡平国立公園と接して、安比総合開発という雄大な計画が、林野庁の森林レクリエーションエリアの指定を受けて240haの広大な土地を対象として、リゾートタウンを目標に開発が進められている。リクルート社が中心となり、原生林に囲まれた草地・湿地が混在する高原を、自然と調和を図りながら、国際的リゾートとして手が加えられているのである。その現在開発中の通年型国際リゾートエリア“安比”の核となる施設として、このホテルが企画された。冬季には雪質のよい安比高原スキー場に集まる人々のために、夏は恵まれた自然を求め、ゴルフを楽しむ人たちのための通年営業のリゾートホテルが求められた。

この計画では、リゾートタウン全体を含めて、グラフィックデザイナー亀倉雄策氏が企画を担当している。氏の指名で谷口吉生氏が設計者に起用されることになった。氏の示す計画案は必ずしも初めから理解されなかったようであるが、既成のホテルの概念にとり憑かれた人々を理解にいたらしめるのに大きな努力が重ねられ、その設計の過程で繰り返される説得の結果、ついに全面的な信頼を得るようになったようである。そして設計者としての自由度は最大に与えられ、建

築全体のコンセプトから細部にいたるまでの氏の精神が浸透しているのを感じさせられるものとなった。また設計は鹿島建設建築設計本部との共同で行われ、インテリアデザイン、サインデザイン、照明までの多くの専門家の見事な協力を見ることができた。この計画では特定の様式から離れて新しいものを目標としつつ、スポーツホテルとしての軽快さの中に、端正な落ち着きと気品とを持たせている。自然との関係においても、それにおもねることなく、切れのよい鋭角的な形とディテールを与え、自然との明快な対立は新しい風景の関係を創造している。

パブリックゾーンからプライベートゾーンまでの動線のレベルの変化、あるいは空間ボリュームの変化をねらい、それに光の量と質の変化を加え、さらに眺望が場面場面に登場し、静けさの中に刺激が交差する演出に無駄がない。

企画側の営業成績への期待を、建築の質に求めたねらいは十分な結果を見たようである。

設計の精神と力量の高さ、それと建築主の企画の若々しい発想、設計者と建築主の全面的な信頼感、設計者の意図を十分に実現するための施工者の工法への研究と、この仕事に参画したよろこびが見事に結実した作品といえよう。

[REVIEW]Yoshiro Ikehara, Masanobu Nakajima, and Hiromichi Sawamura

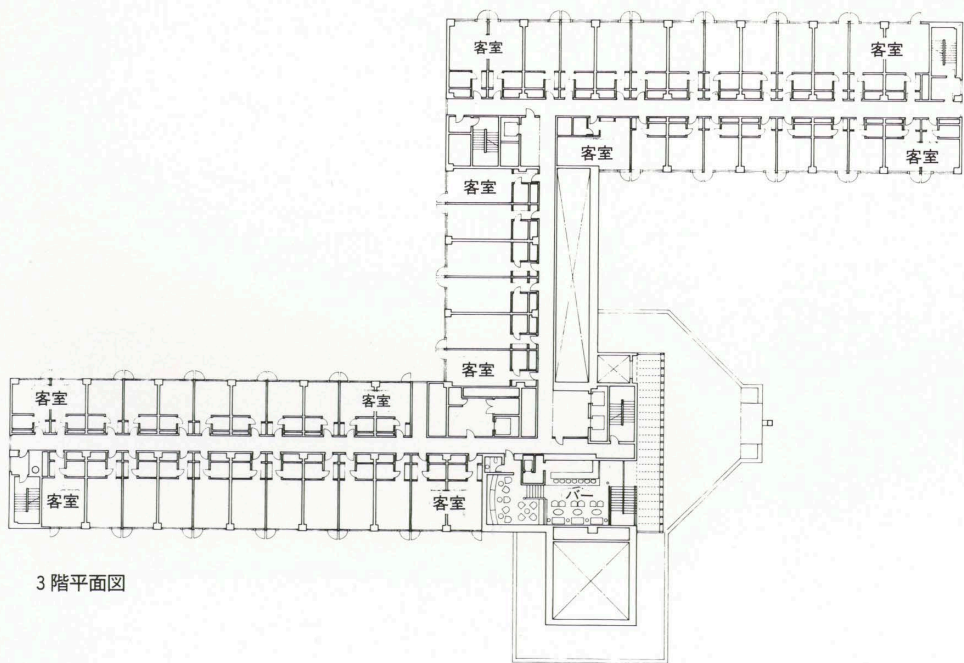
Appi Consolidated Development is a large plan for a resort town to occupy 240 hectares in an officially designated recreation area adjacent to the Towada Hachiman-daira National Park, 50 kilometers north of the city of Morioka, in Iwate Prefecture. The company named Recruit is taking the lead in the project, which aims to produce an international resort that harmonizes with the natural setting of a grassy, watered plane surrounded by pristine forests. This hotel is the central feature of the currently developing resort area, which is intended for year-round use: in the winter, skiing in the excellent snows of the Appi Highlands, and in summer, golf in the midst of a wholesome, beautiful natural setting.

Graphics designer Yusaku Kamekura is in charge of the overall planning of the resort town, and Yoshio Taniguchi is in charge of the architectural design. Although it took time to wean some parties away from old-fashioned ideas about hotels and win their confidence

in his design proposals, ultimately, after repeated efforts, he was given complete trust and design freedom. This means that his spirit seems to permeate everything from whole architectural concepts to small details. Architectural design was done in cooperation with the design department of the Kajima Corporation. Specialists in many fields worked together on interiors, signs, illumination, and so on.

The aim of the design is to break with specific styles and to develop something new and to introduce prop, calm, and dignity into the carefree mood of a sports hotel. Without being subservient to the setting, the design employs crisp, sharp forms and details to confront the world of nature and create new scenic relations.

Variations of level and spatial volume plus changing volumes and qualities of light establish movement lines from public to private spaces. Views of scenery appearing from place to place economically introduce stimuli into calm.



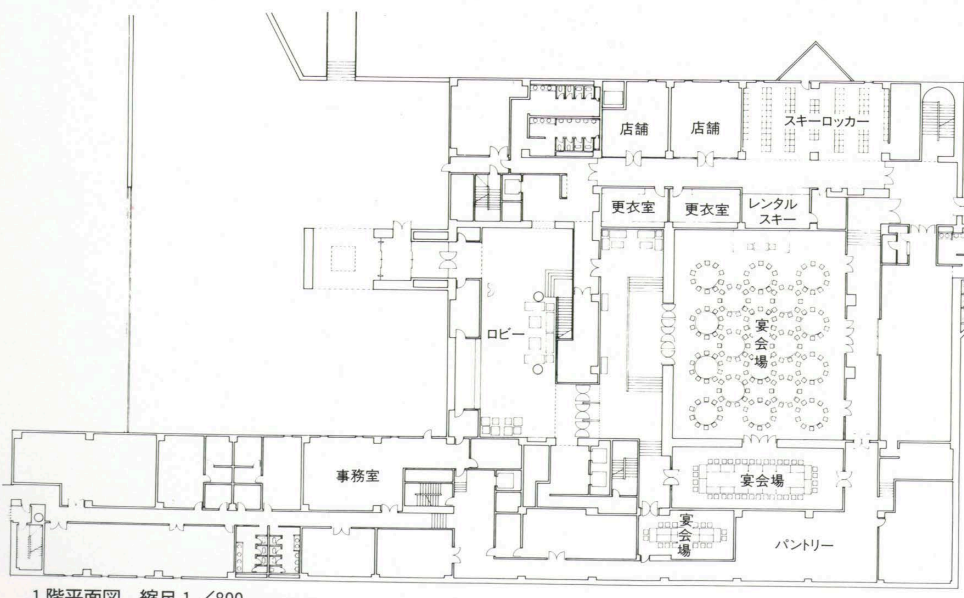
3階平面図

建築概要
敷地面積 6,729 m²
建築面積 4,087 m²
延床面積 19,719 m²
構造=地下:鉄筋コンクリート造 地上:鉄骨鉄筋コンクリート造

規模=地下1階 地上8階 塔屋1階
仕上げ概要

外部仕上げ 屋根:アルミ⑦0.8%フッ素樹脂塗装一文字葺き・アスファルトシート防水
アスファルト防水コンクリート直押え 外壁:アルミ⑦2.5%電解着色・磁器質タイル45×95
外構:インターロッキングブロック アスファルト舗装 建具:アルミ押出材電解着色
内部仕上げ ロビー 床:カーペットタイル貼り 壁:コンクリート打放しツッキ仕上げ・大理石本磨き 天井:PB⑦12%AEP 宴会場 床:カーペットタイル貼り 壁:LGS・PB⑦12%クロス貼り 天井:PB⑦12%貼り
AEP ラウンジ 床:フェルト⑦8%ウイルトンカーペット⑦8%敷き 壁:PB⑦12%ビニールクロス貼り・大理石本磨き 天井:PB⑦12%AEP ダイニングルーム 床:カーペットタイル貼り・大理石本磨き 壁:珪酸カルシウム板⑦9%トネリコ練付けクロス貼り 天井:PB⑦12%AEP 客室 床:フェルト⑦8%・タフテッドカーペット敷き⑦7% 壁・天井:PB⑦12%ビニールクロス貼り

設備概要
空調 熱源:重油 方式:輻射暖房セントラル空調方式 冷凍機:蒸気吸収式冷凍機(二重効用) ボイラー:炉筒煙感ボイラー
衛生 給水:重力式 給湯:セントラル方式
排水:リングレース型浄化槽
消火 スプリンクラー・ハロンガス他
排煙 機械排煙



1階平面図 縮尺1/800